

中央発條株式会社

証券コード：5992

第102期 報告書

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

CHUHATSU
CHUO SPRING CO.,LTD.



株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第102期報告書をお届けするにあたり謹んでごあいさつ申し上げます。



新代表取締役社長

北浦 啓一

前代表取締役社長

小出 健太

Q1

業績を含めた2024年度の 振り返りをお願いします。

2025年3月6日、当社藤岡工場の第3工場におきまして、設備の一部で爆発事故が発生し、この事故により当社従業員1名がお亡くなりになり、2名が負傷いたしました。

お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対し心よりのお詫びとお悔やみを申し上げます。

また株主の皆様を始め、近隣の皆様、お取引先様な

ど多くの方々に多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

現在、爆発の原因について専門家とともに究明作業を続けておりますが、今後、二度とこのような災害を起こさぬよう再発防止策を徹底していくとともに、皆様に安心・信頼して頂ける生産・供給体制の構築強化に努めてまいります。

主要取引先に対する売上高は、2023年度に比べ、国内は第2四半期までの生産停止影響が緩和され、第3四半期以降は2023年度を上回る生産が実施できたことに加え、特に新製品スタビライザの量産開始による取引拡大が寄与し、また労務費及び鋼材、資材等のインフレ影響に対する売価反映が順調に進捗することで増加いたしました。一方、海外は中国をはじめとして北米、アジアを含む全地域で減少となりましたが、グローバル全体の売上高は増加し、2023年度に比べ91億8千2百万円増収の1,101億5千7百万円となり、過去最高となりました。

営業利益は2023年度に比べ33億1千万円増益の43億8千4百万円、経常利益は2023年度に比べ20億5千4百万円増益の51億4千8百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は2023年度に比べ1億3千5百万円減益の18億5千5百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は取引先OEM様での市場回収処置(リコール)について、現時点で入手可能な情報に基づいた、合理的な見積額を引当計上したため、減益となりました。なお、当該処置に伴う費用負担につきましては、引き続きお客様と協議中であり、合意・妥結した金額ではございません。2025年度以降、確定次第、修正計上を行う可能性がございます。

Q2

2025年度の見通し、また中長期な目線での見通しを教えてください。

2025年度は2027年度中長期経営計画における3カ年目となり、公表通り「意思ある踊り場」としての位置づけの年となります。改めて今回の事故を踏まえ、深く反省し、「確実なる安全・人的・経営基盤なくして成長なし」の強い信念のもと、次の4つの事項、及び安全最優先の企業文化づくり、コミュニケーションづくりを実施するために必要な人・モノ・金の費用投入を最優先で確実に且つ積極的に実施いたします。

1	設備の安全対策として、事故の未然防止を強化する安全対策投資を強化します。
2	老朽設備更新を中心に、設備更新を積極に行います。
3	暑熱対策や職場を汚さない設備の導入により、安心して働ける職場環境を整備します。
4	安全、品質、コンプライアンスを実現するための時間やリソースを確保します。

全従業員が同じベクトルを持ち、一丸となり、安全・安心感の中で、2027年度中長期経営計画目標の達成に向け再び進む基盤づくりの年度となるべく、最大の努力を行います。

なお、2025年度は安全対策強化費用として通常の2倍となる総額約10億円相当を予算化いたしますので、売上高見込みは2024年度に比べ変わらずとしながらも、収益各指標見込みは2025年4月24日公表通りの数値といたし

ました。なお、公表値には北米関税による影響は含まれておらず、今後、影響が明らかになり次第、速やかにお知らせいたします。

Q3

株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

小出 この度、2025年6月19日付で代表取締役社長を退任し、後任の社長には執行役員の北浦啓一が就任することを決定いたしました。

2022年に就任以来、強固な収益基盤を継続・定着させることを責務としてまいりました。自動車業界が変革期を迎える中、ニーズを捉えた製品開発・クリエイティブな提案をする“プロポーザブルカンパニー”を目指し、特に高付加価値製品の開発・提案を進め、ODDS[®] (On Demand Disconnectable Stabilizer) の製品化を実現いたしました。今後も北浦新社長のもと、より強靱な体制を築いていけるものと信じております。

長きにわたりご支援いただきました株主の皆様には深い感謝と敬意を表します。誠にありがとうございました。

北浦 このたび、代表取締役社長に就任することとなりました、北浦です。安全を最優先としたものづくりに注力し、2027年度中長期経営計画目標の達成に向け、再び力強い成長計画を実現するべく、取り組んでまいります。

当社はこれからもクリーン&プロポーザブル・カンパニーとして信頼され続ける『100年企業』を目指し、『社会』と『人』に優しく持続的に企業価値を高め続けられる会社づくりに邁進いたします。

藤岡工場第3工場事故について

当社藤岡工場の第3工場におきまして、設備の一部で爆発事故が発生いたしました。

この事故により、当社従業員1名がお亡くなりになり、2名が負傷いたしました。

お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対し心よりのお詫びとお悔やみを申し上げます。

また株主の皆様を始め、近隣住民の皆様、お取引先様など多くの方々に多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

事故の概要
発生日時：2025年3月6日（木）午前8時5分頃
発生場所：当社藤岡工場第3工場（愛知県豊田市深見町向イ洞1071-1）
事故概要：シャシばね（コイルばね）生産ライン集塵機での爆発
人的影響：社員1名死亡、2名軽傷
物的影響：建屋：シャッター、窓枠など外壁、屋根、床面の一部が破損 設備：ショットピーニング機の集塵機
※ショットピーニング…金属の表面に球状の粒子を高速で衝突させることで、耐久性を向上させる表面処理方法

事故発生当時の状況
3月6日（木）午前6時20分頃： 稼働を開始。集塵機内の差圧計が異常値を示した差圧計異常値の対応標準に従い、作業実施
3月6日（木）午前8時5分頃： 作業実施中、集塵機内のダストにより、粉塵爆発発生
関係ご当局の指摘事項をふまえた対策により、今後の操業の安全が確認できたことから、設備点検・動作確認を経て4月1日から生産を再開いたしました。

事故原因
詳細は関係ご当局により調査中のため、事故原因が明らかになった際には、再発防止策と合わせ開示いたします。

損益に与える影響
2025年3月期において、営業損失0.5億円、特別損失1.6億円の計2.1億円をそれぞれ計上いたしました。

安全最優先の取り組み

I 人的対策

目的	安全、安心に働ける職場環境の改善
内容	① 作業標準の見直し ● 全ての作業標準および危険箇所に“必ず設備を止める”を明記 ② 粉塵/油煙等の発生源対策 ③ 計画的に5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）時間を確保し徹底 …… 正常/異常が見える職場環境

II 設備対策

内容	① 設備安全対策の前出し ● 全設備のリスクアセスメント再評価を実施 ➔ 粉塵飛散・ガス漏れを含めた全ての爆発・火災対策（検知器設置等）、挟まれ/巻き込まれ対策を実施 ● 安全装置（異常時の自動停止・フェールセーフ等）、モニター監視システムの導入 ● 不活性化（炭酸カルシウム増量） ● 設備点検の専門業者への委託 ② 老朽設備更新の前出し（含予算措置） ● 故障、頻発停止のため能力不足の設備や不安全設備等の更新前出し実施
----	---

III 基盤・体制強化

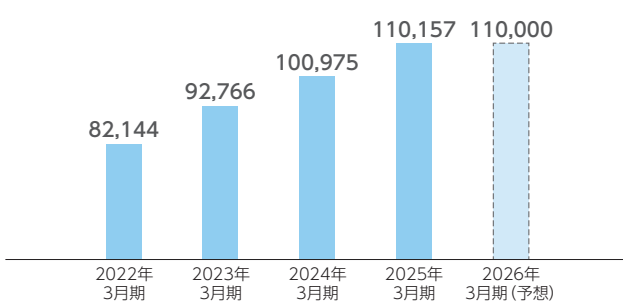
目的	安全活動を推進するマネジメントの改善
内容	① 組織体制、会議体の見直し ● 安全を推進するための組織改編、会議体運営の見直し ② リソース確保 ● 保全要員の拡充、年休要員配置による管理者工数の確保 ③ 安全文化の醸成 ● 安全専念時間（1時間/月）の確保、安全教育による知識向上 ● 全社安全イベント（4回/年）、外部機関による安全講演/安全監査の実施 ● 毎月テーマを決めての安全点検実施

決算概要・連結業績ハイライト

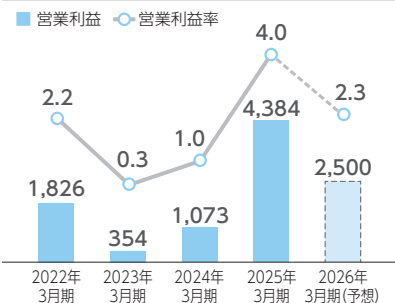
連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	2025年3月期	2024年3月期
売上高	110,157	100,975
営業利益	4,384	1,073
経常利益	5,148	3,093
税金等調整前当期純利益	2,573	3,139
親会社株主に帰属する当期純利益	1,855	1,990

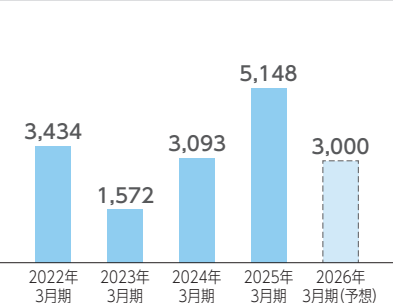
売上高 (単位:百万円)



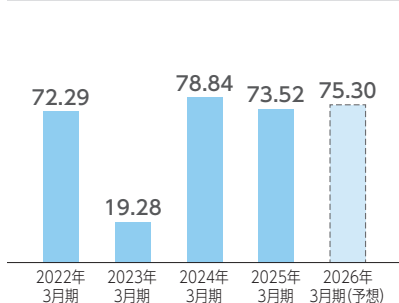
営業利益(単位:百万円)／営業利益率(単位:%)



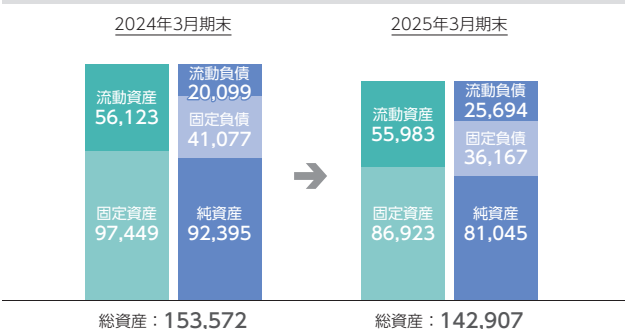
経常利益 (単位:百万円)



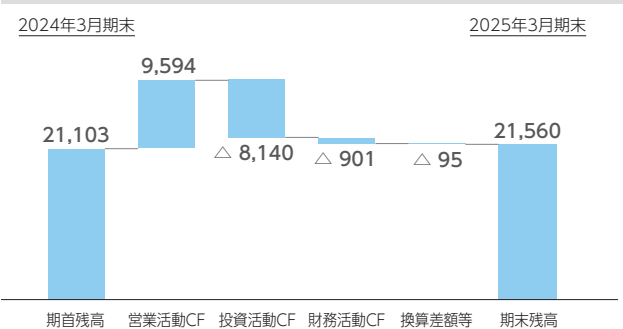
1株当たり当期純利益 (単位:円)



連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



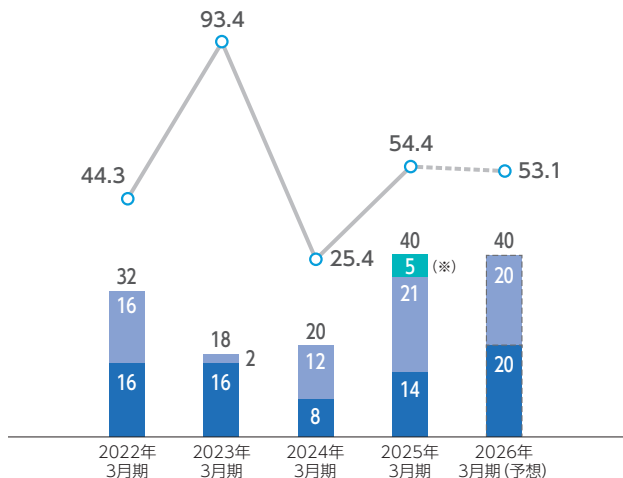
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)



(注) 換算為替レート 2025年3月期: 149円 / US\$ / 2026年3月期(予想): 150円 / US\$

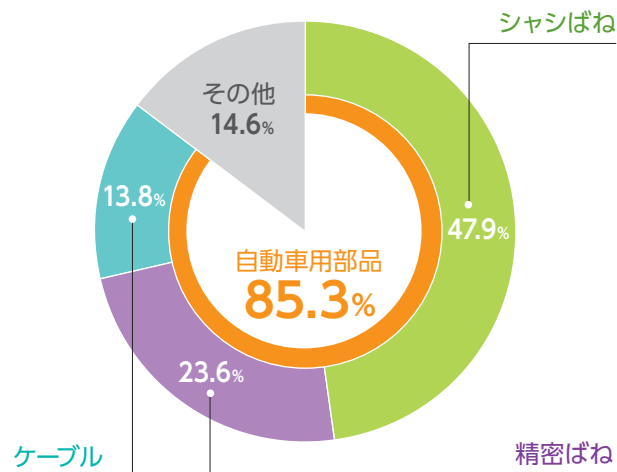
1株当たり配当金 (単位：円)

■ 中間期 ■ 期末 ○ 配当性向 (%) ■ 記念



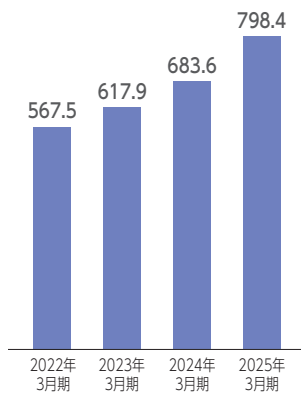
※設立75周年を迎え、日頃よりご支援いただいている株主の皆様への感謝の気持ちを込め、5円の記念配当実施

製品別売上構成



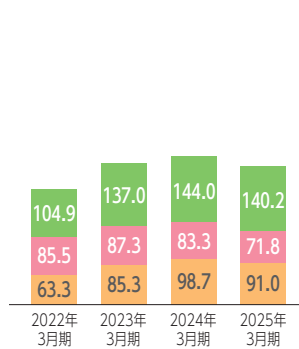
地域別セグメント売上高 (単位：億円)

日本



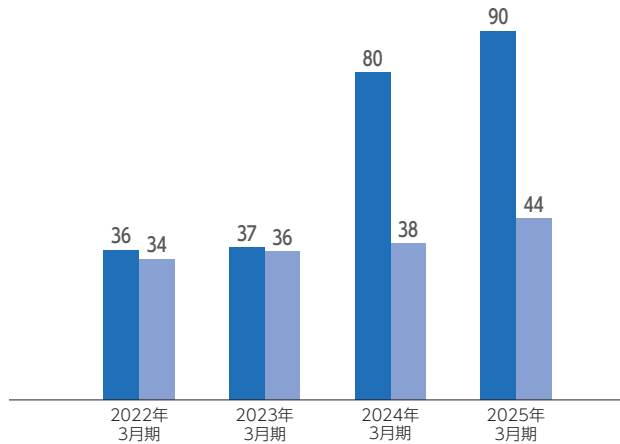
海外

■ 北米 ■ 中国 ■ アジア



設備投資／減価償却費 (単位：億円)

■ 設備投資 ■ 減価償却費



会社概要	
設立	1948年12月25日
資本金	108億3,720万円
従業員数	連結：4,362名 単独：1,613名
製品区分	自動車用部品 (シャシばね、精密ばね、ケーブル)、 その他 (自動車用品・建築用部品他)
本社所在地	〒458-8505 名古屋市緑区鳴海町字上汐田68番地 電話 (052) 623-1111 (総合案内)
主要な事業所	本社工場 (名古屋市緑区) 碧南工場 (愛知県碧南市) 三好工場 (愛知県みよし市) 藤岡工場 (愛知県豊田市) 技術センター (愛知県みよし市) 東日本営業所 (栃木県塩谷郡高根沢町) 西日本営業所 (大阪府吹田市)

役員 (2025年6月19日現在)	
※取締役社長	北浦 啓一
※取締役執行役員	脇坂 一行
取締役執行役員	矢澤 文希
●取締役	安田 加奈
●取締役	山本 光子
常勤監査役	間瀬 実
◆監査役	山本 秀樹
◆監査役	中村 元志
◆監査役	加藤 貴己
執行役員	米倉 浩司
執行役員	市野 晃稔
執行役員	渡辺 圭
執行役員	宮田 征典
(注) ※ 代表取締役 ● 社外取締役 ◆ 社外監査役	

関係会社	
国内 9社	愛知県 中発運輸株式会社 株式会社セプラス 中発精工株式会社 中発販売株式会社 株式会社リーレックス
	岐阜県 株式会社岐阜中発
	静岡県 株式会社エフ.イー.シーチェーン
	長崎県 株式会社長崎中発
	青森県 中発テクノ株式会社
海外 10社	米国 CHUHATSU NORTH AMERICA, INC.
	台湾 中發工業股份有限公司
	タイ CHUHATSU (THAILAND) CO., LTD.
	インドネシア PT. CHUHATSU INDONESIA
	中国 天津中発華冠機械有限公司 天津中星汽車零部件有限公司 天津隆星彈簧有限公司 昆山中発六和機械有限公司 昆山中和彈簧有限公司 孝感中発六和汽車零部件有限公司

(注) 株式会社東郷ケーブルは第102期中に精算結了したことにより、連結子会社から除外しております。

事業内容

当社グループは、次の製品の設計開発、製造および販売を主な事業としております。

シャシばね

足回りに使用されるばね



スタビライザ



コイルばね



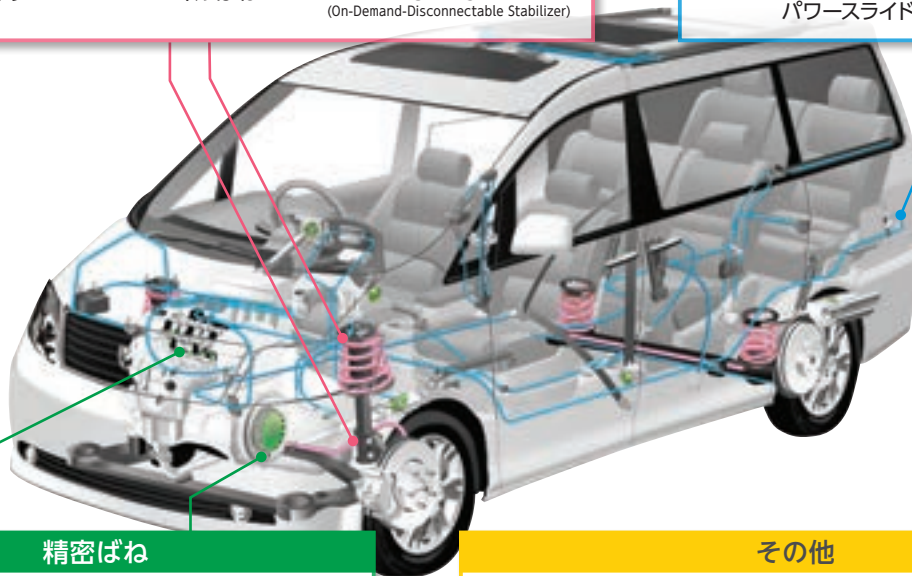
ODDS®
(On-Demand-Disconnectable Stabilizer)

コントロールケーブル

レバー操作を遠隔伝達させる役割



パワースライドドアケーブル



精密ばね

パワーバックドア用ばねや電装部品保持用ばね等、幅広く採用されている



植毛PBD
(パワーバックドア)用長ばね



バッテリーパック用減圧弁

その他

住宅用部品、ヘルスケア部品、EV関連製品なども手掛けている



キャブレックス



スパイラルール



伸縮歩行杖
「あゆみ」

2025年6月19日（木）開催の当社第102回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されました。

報告事項

1. 第102期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第102期 (2024年4月1日から2025年3月31日まで) 計算書類の内容報告の件

決議事項

第1号議案 取締役5名選任の件

本件は、原案どおり取締役として北浦啓一、脇坂一行、矢澤文希、安田加奈および山本光子の5氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、安田加奈および山本光子の両氏は社外取締役であります。

第2号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案どおり監査役として山本秀樹および加藤貴己の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、山本秀樹および加藤貴己の両氏は社外監査役であります。

第3号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案どおり補欠監査役として稲垣昭弘氏が選任されました。

新任役員ご紹介



6月19日開催の株主総会において新任代表取締役社長として北浦啓一氏、新任代表取締役として脇坂一行氏、新任社外監査役として加藤貴己氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

小出前社長が築かれた収益基盤を継続・定着させ、より一層の発展に努めてまいります。

新任代表取締役社長 北浦 啓一氏

略歴

1990年4月	中央発條株式会社	入社
2003年9月	トヨタ自動車株式会社	出向
2012年1月	昆山中和彈簧有限公司	出向 総経理
2016年1月	昆山中発六和機械有限公司	総経理 兼務
2018年1月	中央発條株式会社	調達部 部長
2019年1月	当社	参与
2020年4月	当社	執行役員
2025年6月	当社	代表取締役社長 現在に至る



新任代表取締役 脇坂 一行氏

担当：営業・調達

略歴

1999年4月	トヨタ自動車株式会社	入社
2019年9月	同社調達企画部 第2企画室	室長
2021年3月	天津一汽トヨタ自動車	出向
2024年1月	トヨタ自動車株式会社	ボデー部品調達部 部長
2024年6月	中央発條株式会社	社外監査役
2025年6月	当社	代表取締役 現在に至る



新任社外監査役 加藤 貴己氏

略歴

1992年4月	トヨタ自動車株式会社	入社
2018年4月	同社調達企画部長	
2021年1月	同社サプライチェーン戦略部長	
2022年7月	同社調達本部 副本部長	現在に至る
2025年6月	当社社外監査役	現在に至る

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 ※決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）にて開示しております。
株主名簿管理人 (郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
(連絡先)	TEL 0120-232-711（通話料無料）
(ホームページ)	https://www.tr.mufig.jp/daikou/ よくあるお問い合わせは QRコードからご確認ください ※「QRコード」は株式会社デンソーウェアの登録商標です。
単元株式数	100株
証券コード	5992
上場取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所

配当金を「配当金領収証」で受領されている株主様

配当金を銀行等の預金口座へ入金する手続きをしていただきますと、配当金支払開始日に株主様ご指定の口座に振り込まれ、迅速かつ安全・確実に配当金をお受け取りいただくことができます。

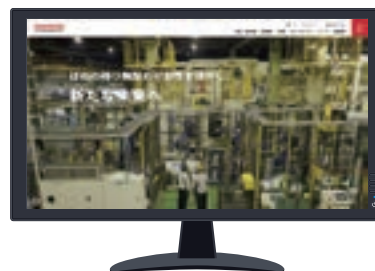
振込手続きをご希望の株主様は口座を開設されている証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

この度、当社ホームページを全面リニューアルいたしました。より使いやすく、情報の取得がスムーズになるよう設計から見直しております。

今後も多くの皆様にご利用いただけるサイト作りを目指し、内容の更なる充実を図って参ります。

<https://www.chkk.co.jp/>



スマートフォンサイトは
こちらから

今後の株主通信提供方法について

第103期より下記の通り提供方法を変更させていただきます。ご理解のほど、宜しくお願い申し上げます。

第102期

中間報告書
ホームページへ掲載



期末報告書
株主総会後に郵送



第103期以降

中間報告書 **廃止**

期末報告書
ホームページへ掲載



中央発條株式会社

